



「食の安全科学ゾーン」では画期的な分析機器などが展示されていた

検査などの受託業務をPRした。団体関係では、AOACインターナショナル日本セクションが、国際機関や世界各国が公定分析法として採用しているAOAC公認法のメソッド・パレードショーの仕組みを中心に、AOACインターナショナルおよび一九九八年にアジア初の支部として承認された日本セクションの活動を紹介。(社)日本食品衛生協会からは、食品衛生関連の専門書籍、教育用小冊子、DVD、ポスター等の展示販売。食品衛生および食品検査関連の相談コーナーを設けていた。

また(社)日本パン技術研究所は、製パン会社のみならずさまざまな食品製造施設および関連施設において前提条件プログラムの構築、強化をサポートするプログラムであるAIBフードセーフティ(GMP)指導・監査システムや各種セミナーを紹介。公益財団法人日本適合性認定協会は、国際規格であるISO/IEC17025に基づいた試験所認定サービスや検査機関認定サービスなどを紹介した。

農畜産分野でも事業展開する(株)ピイアイシイ・バイオは、大豆ベプチド・プロテイン・バイオアスリー

馴染みの「コンポシリーズ」、日環エンジニアリング(株) (<http://www.nikkan-ks.com/>) が堆肥化のための攪拌機、みのり産業(有) (<http://www.h2.dion.ne.jp/~minoraze/>) が菌体飼料製造機や発酵菌「ミノラーゼ」、(株)岡田製作所 (<http://www.okadass.com/>) がバイオガス・堆肥化システムなどをPRした。



「2011 NEW環境展」会場



発酵菌「ミノラーゼ」などをPRするみのり産業(有)の山本祐也氏

「アグリテック」十月開催  
農業関連企業が続々出展へ

農業設備、農業、農機、包材メーカーなどが一堂に出展する「第一回農業資材EXPO「AGRITECH H(アグリテック)」が十月十三、十五日、千葉県の幕張メッセで開催される。主催者によれば、現在募集活動は順調に進んでおり、出展企業は当初の予定を大幅に上回る二五〇社に達する見通し。第一回目から業界最大規模になるとしている。

展示会場には施設園芸、農業機械、植物工場、包装・物流、農薬、土・肥料・土壌改良材、野菜・果樹・水稲 種苗、関連資材・技術の八つの専門ゾーンを設置。すでに各分野の主要企業が続々出展を決定しており、施設園芸ではサンホープ、ネポン、イーエス・ウォーターネット

トP3や、畜産分野の消臭資材としても活躍する「カナディアンフミンHNC」、有効成分のフルボ酸を抽出した「カナディアンフルボ」などを出品。「カナディアンフルボ」は、植物の多目的の活性液として使用でき、葉面を覆ったフルボ酸液は、晩秋や初春の霜枯れ対策にもなり、この溶液に植え付け前の植物の種子を浸しておくと同菌に対する抵抗

節電、省エネ関連機器の出展多数  
「2011NEW環境展」開かれる

五月二十四、二十五日、東京・有明の東京ビッグサイト東展示棟と屋外会場で「守ろう地球 創ろう共生社会」をテーマに「2011NEW環境展」が開催された。今回の出展社数は五四七社・一八四二小間で、四日間の来場者数は一五万七九〇五人に上った。

今回のみどころの一つは、福島第一原発の事故により今夏の大規模な電力不足が予測される中、気化熱を利用した冷風を出す装置や、窓ガラス用省エネフィルム、窓ガラスの遮熱対策としてのコーティング剤など「節電」のための機器やシステム。

抵抗力が高まり、栄養分も溜め込み芽率が向上し、その後の成長も促進。また畜産動物の飲水に混ぜて使用することもでき、キレート効果により多くの栄養素を吸収しやすくなるため、育成率の上昇や飼料要求率の改善が見込め、腸内環境を整え、抗病性の上昇とともに悪臭対策にも効果を発揮する。

また、省エネ機能で注目されているLED照明はじめ、遮熱塗料を中心にした建物の断熱・遮熱技術商品、日本初の本格移動式のソーラー発電機、ループ型タービンを備えた小型風力発電機など工夫を凝らした機器が出展された。環境浄化の分野では、廃水を簡単・安価に処理するシステムや土壌汚染対策はじめ、産業廃棄物のリサイクル目的での成分分析や各種処理工程のモニタリングシステムなど、最先端の専門技術やシステムが紹介された。本誌関連では、中部エコテック(株) (<http://www.chueco.co.jp/>) がお

ト、イーイズ、イワタニアグリグリーン、みかど化工、サンブラック工業など。農業機械ではスズテック、竹田工業、富士重工業、ホクエツ、ムンタースなど。包装・物流では京町産業車輛、鈴木特殊化工、三井化学東セロなど。植物工場ではニシケン、桜井、日本アドバンストアグリなど。土壌改良材ではリサール酵産、林化学工業、松本微生物研究所。農薬では三井化学アグロ、デュポンなど。他にも、北海道から野生動物コントロールのファームエイジ、九州から西尾養蜂園など普段なかなか見る機会のないユニーク商品が日本全国から集結、バイヤーなど農業関係者二万名の来場を予定しているという。

**ケージファン ウィンドウレス鶏舎**  
ケージファンにトンネル換気ウィンドウレス鶏舎を組み合わせることで、すばらしい内部環境を実現しました。

複層ケージから  
詳細用ワイドケージまで  
あらゆるロットに対応

**ヨシダエルス株式会社** <http://www.yoshida-lsys.com>

本社・工場 和歌山県御坊市藤田町吉田155 電話 0738-22-2111 FAX 0738-22-8885 〒649-1342  
東京支店 東京都千代田区飯田橋3-4-10 電話 102-0072 TEL 03-3511-0033(代) FAX 03-3511-3400

▲ケージの断面図(7段の場合) ケージ上のダクトによる空気の流れは図の矢印の通りになり、換気と糞尿を同時に回収します。